

Newsletter

vol. 23

英語を話せればよいのか

国際交流センター所長・法学部教授 水野 謙



この4月から、国際交流センターの所長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いたします。

海軍兵学校と英語教育

いきなり昔話で恐縮ですが、太平洋戦争の開戦前後は、敵性語である英語を排斥する世論が盛り上がった時期でした。例えば、日本野球連盟はストライク・ワンを「よし、一本」と言い換え、陸軍士官学校は採用試験科目から英語を除外しました。しかし海軍兵学校では、終戦に至るまで採用試験から英語が廃止されることはなかったといいます。時の校長、井上成美中将（後の海軍大将）が、「自国語一つしか話せないような兵科将校が世界へ出て、一人前の海軍士官として通用するわけが無い」と、校内の圧倒的多数の廃止論に断固反対したからだと伝えられています（阿川弘之『井上成美』参照）。校長退任後、命がけて終戦工作に従事した井上の卓見をここにみる思いがします。そして、今から60数年前のあの当時も、今日も、外国語教育の重要性は強調して余りあると考えられます。

何のために留学をするのか

もっとも、だからといって、学生の皆さんの中に、在学中もっぱら英会話の勉強だけに力を注ごうとか、主に語学を学ぶためだけに留学をしようなどと考えている人が仮にいれば、私はあまり賛成できません。そのような形で、

限られた貴重な時間を使ってしまうのは、もったいないと思うからです。

エリート教育を目指した海軍兵学校でも、砲術や水雷術などと並んで、哲学や世界史などの学科が幅広く教授されており、英語はその中の1つの科目にすぎなかったといいます。また、これは評価が分かれるところかもしれませんが、兵学校に赴任する前の井上成美は、本業とでもいべき艦隊勤務では十分な戦果を残していません。第四艦隊司令長官としての彼は、例えば珊瑚海海戦では消極的な指揮を行ったとして強い非難を浴びています。これらのことから教訓めいた結論を導き出そうとするのは、いささか強引かもしれませんが、いずれにしても、学生の皆さんには、まず何よりも自分の専門科目の徹底した修得に努めていただきたいと思います。同時に、隣接の学問領域にも目を向け、幅広い教養を身につけてほしい。海外留学は、あくまで、その延長線上に位置づけられるものではないのでしょうか。グローバル化という、様々な意味を付与しうるスローガンが叫ばれる今日だからこそ、何のために留学をするのかという各人の目的意識の中味が、強く問われなければならないと考えます。

などと偉そうなことを書きながら、それにしても国際交流センターのお手伝いをさせていただく以上、もう少し品格ある英語を使えるようにならなければ、と思う今日この頃です。

私のIELTS・TOEFL[®]勉強法

「留学したい!」と思っている皆さんなら、誰でも一度は、語学能力テストのスコアの伸び悩みという壁にぶつかると思います。今回は留学経験者の高長谷さんと、今夏から1年間、ノースカロライナ州立大学シャーロット校へ留学予定の椎名さんに、勉強方法などを教えてもらいました。留学したいと思っている皆さんの参考になればと思います。

文学部哲学科4年

高長谷 奈月

(2008年度オーストラリア国立大学派遣学生)

私が協定留学への応募を決意したのはとても遅かったので、大学に応募書類を提出する期限までに受けられるIELTSは2回しかありませんでした。IELTSの勉強・受験も初めてだったので、1回目でテストの形式や会場の雰囲気などに慣れ、2回目でスコアを達成することを目標にして勉強を始めました。

勉強の方法ですが、テストまでの時間が少なく、またスピーキングとライティングに力を入れたかったので、1対1で比較的自由に対応してくれる英語学校に通いました。IELTSはTOEFL[®]に比べると教材や対策講座も少ないので、気軽に質問できる先生がいると心強いと思います。

ライティングは、introduction→body→conclusionの流れをきちんと作ることを意識して練習しました。内容や英語の正確性などももちろん大事ですが、ライティングは論文としての形式が整っていることがまず重要だそうです。また、書いたものを英語学校で見てもらい、間違っているところをチェックして直すようにしました。

リスニングは、音読練習を繰り返しました。最初はスクリプトを見ながら音声に合わせて、多少ついていけるようになったらスクリプトなしでやりました。実際のテストでは音声の流れる前に問題を見る時間があるので、内容すべてをスクリプト通りに聞き取る必要はありませんが、英語のリズムに慣れることができるし、スピーキングの対策にもなったと思います。また、勉強中の気分転換にもなりました。

スピーキングは英語学校で、先生を相手に練習しました。話す内容はテストに沿った内容というより、日常生活のことや学校の勉強のことについてでしたが、頭に浮かんだことを口から英語で出す(?)練習になったと思います。他に、教材の例題を使って自分ならどう言うか、実際に口に出して練習しました。

最後にリーディングは、リスニングと同じように先に設問を見て、答えを探しながら文章を読むようにしました。また、語彙を増やすために、文章に出てきた重要な単語は覚えるようにしました。

協定の出願のために取り組んだIELTSですが、実際に留学してみると、IELTSの勉強を通して留学生活に必要な英語力が身に着いていたと感じました。

自分にとってやりやすい勉強法は人それぞれなので、自分なりのやり方を見つけて頑張ってください。

文学部英米文学科3年

椎名 遥香

大学入学当初から協定留学を希望し、1年生の頃からTOEFL[®]を受験してきましたが、不器用な私はスコアを伸ばすまでにずいぶん多くの時間をかけ、勉強方法についてもあれこれ悩むことが多々ありました。しかし、今思えばその過程はとても重要であったと思います。同じような悩みを抱える方にとって、私の失敗や経験が少しでも参考になれば幸いです。

大学にも慣れ、6月頃に初めてテストを受けたところ、スピーキングやリスニングテストのレベルの高さに圧倒されました。海外経験が全くなく、高校在学中は大学入試を考慮したリーディングやグラマー中心の勉強をしていたので、それら2つのセクションのスコアは特にひどいものでした。外国人講師による指導でスピーキングの向上を期待し、夏休みには生涯学習センターで開講されていたTOEFL[®]対策セミナーに参加しました。TOEFL[®]に慣れることから始まり、スコアアップのテクニックを身につけました。セミナーが終わった後はひたすらETS公式問題集を解きました。しかし、問題の特徴や形式、コツを把握することで得られるスコアには限界があり、協定留学に出願できるぎりぎりのスコアしか取得できず、選考にもあっさり落ちてしまいました。

来年こそは、と決意を新たに闇雲な勉強方法を見直しました。「包括的な英語能力の向上」をしない限りスコアは上がらないと考え、授業以外に洋書を読んだり、洋画や海外のニュースを字幕無し、若しくは英語字幕で視聴したりと、それまでの「勉強」の方法から一転させてみました。このような学習方法で得られたものは多くあったと思いますが、語学習得に適した作品を見極めることも出来ず、自分の好みで本や映画を選択していたため、TOEFL[®]でのスコアアップに直結する学習ではなかったと思います。

そうこうしている内にまた夏が来て、協定留学に出願するため、10月までにスコアを上げなければなりませんでした。そこで「英語能力向上」から「テスト勉強」に集中することにしました。市販されている単語集を活用し、TOEFL[®]の頻出単語や日常はあまり使用しない理系分野の学術的単語を集中的に覚え、苦手なスピーキング対策として、シチュエーションごとの返答を予め用意して丸暗記しました。

この時覚えた表現などは、結局その後も自然と口から出てくるようになっていたり、あまり使わないだろうと踏んでいた単語を授業中使用したりと、予想以上に「テスト勉強」はスコアをあげるだけでなく「英語能力向上」にしっかり結びついていました。

日々の授業も含め、上記要素の全てがスコアアップにつながっていたと思います。思い悩み頓挫してしまったこともあります。勉強に関する不安は勉強することによってしか解決できないと実感しました。留学という目標は他の何かにすり替えることができないからこそ、みなさんも悩んで辛い思いをされているのではないのでしょうか。しかし、実際そういう思いをしている間は気づきにくいと思いますが、明確な目標を持つことができ、それに向かって突き進んでいくことが自分が素敵なことであり、そのような環境にいられることはありがたいことだと思います。目標に向かって頑張ってください。

平成21年度学習院大学海外留学奨学金の募集について

本学独自の学内奨学金である「学習院大学海外留学奨学金」については、平成21年度第1回目の募集はすでに終了しました。第2回目の募集については、国際交流センターのHPや掲示等でお知らせします。

なお、前号でもお知らせしたとおり、本奨学金制度は今年度より、奨学金額が変更され、一律50万円から、50万円を限度として、個々の留学内容に応じた額が支給されるようになります。

応募条件：「留学願」が承認されている者。（海外の大学・大学院等に留学が決定しているか、出願中の者で、奨学金給付時までに「留学願」が承認されることが見込まれる者を含む。）他

※出願時点で「留学願」が承認されている必要はありません。

奨学金額：1人50万円以内（給付）

募集人数：20名（年間）

募集日程：

年度	募集時期(応募締切)	応募対象者
21年度	第1回(すでに終了) 第2回(平成21年6月)	学籍簿上の留学期間が ①H21年4月～ H22年3月 または ②H21年10月～ H22年9月の者

平成20年度は以下の皆さんが奨学生に選ばれています。

所属	氏名
法学部政治学科2年	米森 幸帆(イギリス)
経済学部経済学科4年	白尾 朋子(イギリス)
// 経済学科4年	新島 瑠美子(アメリカ)
// 経営学科2年	高塚 悠平(アメリカ)
文学部哲学科3年	高長谷 奈月(オーストラリア)
// 英米文学科3年	洞田 沙也加(アメリカ)
// 日本語日本文学科4年	馬場 瑤子(中国)
// ドイツ文学科3年	小野 瑠依(ドイツ)
// ドイツ文学科3年	我澤 はな子(ドイツ)
政治学研究科政治学専攻M1年	森田 彩里(アメリカ)
// M2年	今岡 梨衣子(アメリカ)
// M2年	甲元 亜希(アメリカ)
人文科学研究科史学専攻D2年	石川 晶(中国)
// 史学専攻D2年	武田 和久(イギリス)
// 史学専攻D2年	矢沢 忠之(中国)
// 史学専攻D3年	犬飼 崇人(フランス)
// 史学専攻D3年	増田 厚之(中国)
// 史学専攻D3年	大多和 朋子(韓国)
// フランス文学専攻M2年	長谷川 さよ(フランス)
// ドイツ文学専攻M2年	宇佐美 千秋(ドイツ)

() 内は留学先国/学年はH20年度のもの

2010年度協定留学プログラム(第1期) 派遣学生募集について

国際交流センターでは、2010年度第1期(派遣先：韓国、タイ、オーストラリア、ニュージーランド等・留学期間：2010年4月～2011年3月)の派遣学生を募集します。

募集要項の配付日程、説明会の開催日時等については、後日、国際交流センターのHP、掲示等でお知らせします。

第2期(派遣先：中国、アメリカ、ヨーロッパ等・留学期間：2010年10月～2011年9月)の募集は、後期に行う予定です。

中国留学生の会と韓国人留学生会

皆さんは本学で何名の留学生が学んでいるかご存知でしょうか？ 答えは約130名です(2008年5月現在)。そのうち、中国および韓国出身の学生さんが、それぞれ50名程度在籍しており、全体の80%近くを占めています。彼らは、留学生会を結成し、様々な活動を行っています。昨年、「中国留学生の会」は夏の熱海旅行の他、初めて大学祭で水餃子の店を出店し、大盛況だったそうです。「韓国人留学生会」は、在日韓国人留学生連合会のボーリング大会で、前期は優勝、後期は準優勝という輝かしい成績を納め、また、夏には本学の校外施設である日光・光徳小屋で合宿を行ったそうです。皆さん、それぞれ大学生活を謳歌しているようです。



中国留学生の会



韓国人留学生会



※表紙の写真は、禹吳顕さん(人文科学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程2年)が撮影したものです。

Newsletter vol.23

April 1, 2009

発行日/2009年4月1日

編集・発行/学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html

●編集後記● 日頃、留学生と接する機会が多い私達であるが、思わぬ文化の違いに驚くことがある。例えば、ホチキス。日本では、A4・右開きの場合、左端から1、2cm、上下10cmあたりを留めるのが普通だが、滞日歴10年、日本語堪能の彼女が留めていたのは左・上下共端ギリギリ。彼女の国ではできるだけ端を留めることが良いとされているようだ。日頃気づかないこの様な小さな文化の違いは、まだほかにもたくさんあるに違いない。国際交流は奥が深いものだと思えて感じた出来事であった。

【平成21年度国際交流センター運営委員】

所長	水野 謙	(法学部)
運営委員	元田 結花	(法学部)
//	Brown, Phillip	(経済学部・外国語教育研究センター)
//	村野 良子	(文学部)
//	村松 康行	(理学部)
//	宮川 努	(教務部長・経済学部)
//	荒川 一郎	(学生部長・理学部)